

○医学の父ヒポクラテス格言

- ・歩くと頭が軽くなる
- ・火食は過食に通ず
- ・まず何よりも害をなすなかれ
- ・すべての病気は腸から始まる
- ・歩く事は人間にとって最良の薬である
- ・満腹が原因の病気は空腹によって治る
- ・月に一度断食すれば病気にならない
- ・病気は神が治し、恩恵は人が受け取る
- ・汝の食事を薬とし、汝の薬は食事とせよ
- ・人は自然から遠ざかるほど病気に近づく
- ・病気は食事療法と運動によって治療できる
- ・食べ物で治せない病気は、医者でも治せない
- ・人間は誰でも体の中に百人の名医を持っている
- ・賢者は健康が最大の人間の喜びだと考えるべきだ
- ・病人の概念は存在しても、病気の概念は存在しない
- ・私たちの内にある自然地有力こそ真に病を治すものである
- ・極度に激しい疾患には、極度に激しい治療が最も有効である
- ・健全なる体を心掛けてる者は完全なる排泄を心掛けねばならない
- ・筋肉を十分に使ってる人は病気にかかりにくく、いつまでも若々しい
- ・心に起きる事は全て体に影響し、体に起きる事もまた心に影響する
- ・食べ物について知らない人が、どうして人の病気について理解できようか
- ・患者に発熱するチャンスを与えよ。そうすればどんな病気でも治してみせる
- ・人間がありのままの自然体で自然の中で生活すれば120歳まで生きられる
- ・病人に食べさせると、病気を養う事になる。一方、食事を与えなければ、病気は早く治る
- ・病気は人間が自らの力をもって自然に治すものであり医者はこれを手助けするものである

1-2. ワクチンの効果について

○尾身茂氏 TVで感染を防ぐ効果がないと発言(そこまで言って委員会 NP/読売テレビ/6/8 放送)

＜ジャーナリストの須田慎一郎氏→本当にこのワクチン、特に mRNA タイプのワクチンを信用して、信頼していいのか、ぜひ伺いたいんですけども。＞

＜尾身さん→私見を申し上げますと、有効だったかどうかという話を結論から言うと、感染防止効果、感染を防ぐ効果は残念ながらあまりないワクチンです。＞

＜医師の森田豊さん→現時点で、若い人たちに対してワクチンを打つかどうかに関して、尾身先生のいわゆる私見を述べてもらいたい。＞

＜尾身さん→それはもう私は、私見だけじゃなくてこれは分科会の会長として公に何度も言っています。途中から、これは若い人は感染しても重症化しないし比較的副反応が強いから、これについては本人たちがやりたいんならどうぞ、と＞

○厚生労働省が感染者データを改ざん、接種歴不明者を未接種者に入れて感染者数を水増し

ワクチン接種歴別の新規陽性者数（4/25-5/1）

	未接種			2回目接種済み (3回目接種済みを除く)			3回目接種済み			接種歴不明
	新規陽性者数 (4/25-5/1の合計)	未接種者数 (5/1時点)	10万人あたりの新規陽性者数	新規陽性者数 (4/25-5/1の合計)	2回目接種者数 (3回目接種者数を除く) (5/1時点)	10万人あたりの新規陽性者数	新規陽性者数 (4/25-5/1の合計)	3回目接種者数 (5/1時点)	10万人あたりの新規陽性者数	新規陽性者数 (4/25-5/1の合計)
0-11歳	33,518	10,410,375	322.0							
12-19歳	6,013	2,094,217	287.1	12,246	5,677,150	215.7	902	1,143,855	78.9	10,732
20-29歳	5,204	2,431,304	214.0	10,005	6,056,280	165.2	3,686	4,224,012	87.3	9,541
30-39歳	5,001	2,788,305	179.4	11,237	6,265,850	179.3	5,603	5,231,144	107.1	12,121
40-49歳	3,416	3,071,124	111.2	9,986	6,751,125	147.9	6,702	8,527,097	78.6	11,167
50-59歳	1,783	1,367,345	130.4	4,273	4,481,155	95.4	4,657	10,911,895	42.7	5,516
60-64歳	393	629,542	62.4	890	1,103,817	80.6	1,792	5,663,038	31.6	1,515
65-69歳	238	986,650	24.1	384	558,438	68.8	1,683	6,537,907	25.7	1,252
70-79歳	390	893,184	43.7	528	920,356	57.4	2,591	14,377,782	18.0	1,873
80-89歳	222	105,742	209.9	380	642,402	59.2	1,608	8,276,193	19.4	1,368
90歳以上	120	2,913	4119.5	168	229,756	73.1	703	2,136,842	32.9	645

第83回 2022/05/11 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード

○効果についてファイザー社に TELして得られた回答

今年度のワクチンに限定せず、弊社のワクチン全般で、現時点で「重症化予防効果に関して弊社の見解はありません」し、おっしゃっていただいた「感染予防効果」に関して、今回のワクチンに限らず「評価はされていない」というものになります

1-2. ワクチンの被害について

○予防接種健康被害救済制度審査結果（11月20日現在）

- ・受理件数 14,461 件 / 審査件数 13,640 件 / 認定件数 9,364 件(内死亡 1,049 件)
- ・68.65%が認定 / 否認件数 4,242 件 / 保留件数 34 件

○各ワクチンで低年齢での被害多発（10月31日発表）

- ・Hib+PCV+MR+水痘 / 1歳接種者死亡
- ・種痘 / 1歳接種者死亡
- ・HPV / 17歳 19歳が健康被害認定

MR/6歳健康被害認定 ・BCG/6ヶ月健康被害認定 ・ロタ/2ヶ月健康被害認定

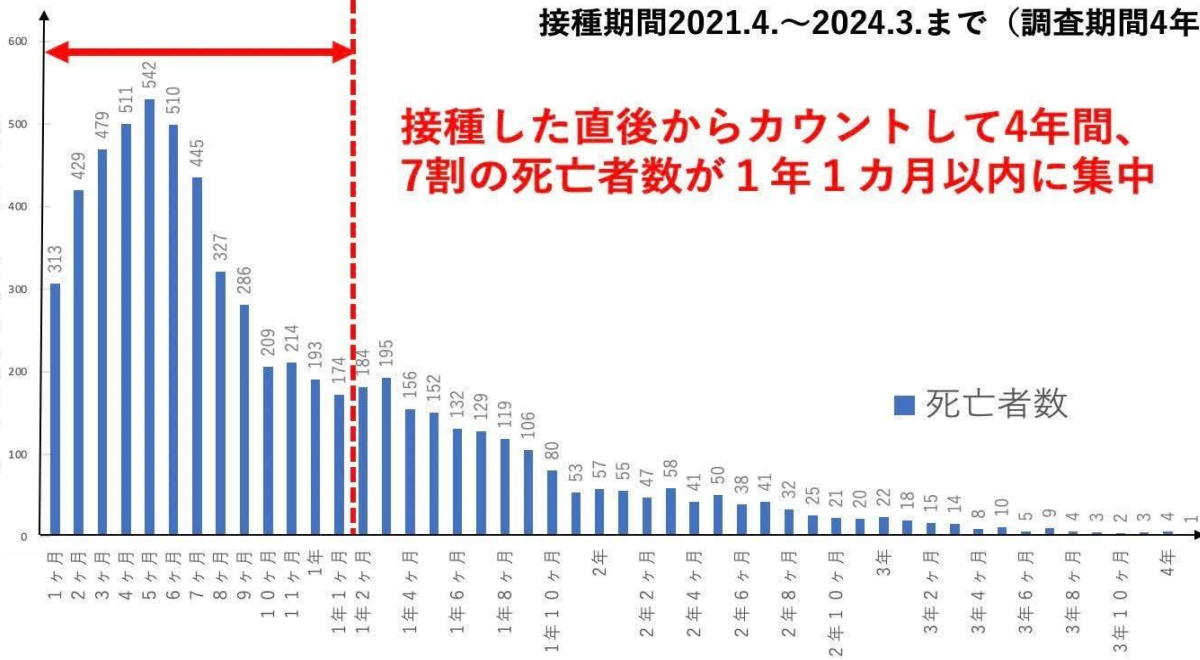
	性別	接種時年齢	ワクチン	請求内容	疾病名・障害名	関連する基礎疾患及び既往症※	判定	否認(理由)	備考
(認定)	男	1歳	Hib+PCV+MR+水痘	死亡一時金・葬祭料	敗血症性ショック	Hib+PCV+MR+水痘ワクチン接種後急性散在性脳脊髄炎、出血性白質脳炎	認定		
	男	6カ月	BCG	医療費・医療手当	右脛骨BCG骨髄炎		認定		
	女	2カ月	ロタ	医療費・医療手当	腸重積症		認定		
	女	72歳	インフルエンザ	医療費・医療手当	ギラン・バレー症候群		認定		
	女	1歳	種痘	死亡一時金・葬祭料	多臓器不全、播種性血管内凝固症候群	種痘接種後脳炎後遺症、症候性てんかん、SLE、MCTD、抗リン脂質抗体症候群	認定		
	女	19歳	HPV	医療費・医療手当	全身の発疹		認定		
	女	17歳	HPV	医療費・医療手当	嘔気、逆流性食道炎、上肢脱力感		認定		
(否認)	男	6歳	MR	医療費・医療手当			否認	1	

※ 認定された死亡事例について、疾病・障害認定審査会の審議において、死亡の原因となった疾病に関連すると評価された基礎疾患及び既往症。

流山市コロナワクチン接種後の死亡者数 6541人

接種期間2021.4.～2024.3.まで（調査期間4年間）

死亡者人数（流山市）



接種した直後からカウントして4年間、
7割の死亡者数が1年1カ月以内に集中

コロナワクチン接種後に死亡に至るまでの月数

※死因とコロナワクチンは証明されていません。統計上、不自然な偏りがあるのみ。

流山市開示情報・情報提供 2021年4月～2024年3月接種情報

流山市/うた桜子市議作成

○日本の死亡者数異常増加

- ・令和2年死亡数 137万 2755人、前年より8338人減少
- ・令和3年死亡数 143万 9856人、2年より6万 7101人増加
- ・令和4年死亡数 156万 9050人、2年より19万 6295人増加
- ・令和5年死亡数 157万 6016人、2年より20万 3261人増加
- ・令和6年死亡数 160万 5298人、2年より23万 2543人増加
- ➔令和3年から令和6年の令和2年比 合計70万 7538人



ファイザー社新型コロナウイルスワクチン
の有害事象 1291件

○鎌倉市の死亡者数・救急搬送数(令和2年との比較)

月	急病搬送数			死亡者数		
	令和2年	令和7年	令和2年比	令和2年	令和7年	令和2年比
1	614	695	113%	206	261	126.70%
2	495	620	125.25%	149	194	130.20%
3	422	639	151.42%	165	178	107.88%
4	382	598	156.65%	141	188	133.33%
5	399	586	146.68%	147	171	116.33%
6	437	599	137.07%	165	165	100%
7	417	746	178.90%	183	152	83.06%
8	558	720	129.03%	164	165	100.61%
9	484	649	134.10%	168	168	100%
10	482	620	128.63%	147	181	123.13%
11	465			159		
12	499			162		
計	5654	6472		1956	1823	

○鎌倉市の成り立ち

- ・1878年(明治11年)11月18日神奈川県で郡区町村編制法が施行され近代行政区画としての鎌倉郡が発足。
- ・1889年(明治22年)30余りの村があった鎌倉で村の廃置分合が行われたうえで村制が施行され、近代行政村としての東鎌倉村・西鎌倉村・腰越津村・深沢村・小坂村・玉縄村が発足。
- ・1938年(昭和13年)鎌倉町と藤沢町の間で、片瀬町と腰越町を合併するための争奪戦が発生。
- ・1939年(昭和14年)11月3日鎌倉町と腰越町が新設合併市制を施行、鎌倉市を発足する。
- ・1948年(昭和23年)1月1日深沢村が鎌倉市に編入。6月1日-大船町が鎌倉市に編入。これをもって鎌倉郡消滅。

○湘南市構想

湘南市構想は、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、高座郡寒川町、中郡大磯町、二宮町の6市町の合併構想で当時の人口約97万人の都市合併まで至らなかった

※現在の人口

藤沢 443、茅ヶ崎 245、平塚 257、鎌倉 170 →111万人(4市)
大磯 30、二宮 26、寒川 48、逗子 55、葉山 30→130万人(9市町)

○津波災害警戒区域の指定

津波災害警戒区域 指定市町一覧

	市町名	指定年月日
01	川崎市	未指定
02	横浜市	未指定
03	横須賀市	未指定
04	三浦市	未指定
05	三浦郡葉山町	未指定
06	逗子市	未指定
07	鎌倉市	未指定
08	藤沢市	令和3年3月22日
09	茅ヶ崎市	令和7年3月24日
10	平塚市	未指定
11	中郡大磯町	令和3年8月30日
12	中郡二宮町	令和3年3月22日
13	小田原市	令和元年12月24日
14	足柄下郡真鶴町	令和元年12月24日
15	足柄下郡湯河原町	令和元年12月24日

◆市内5ヶ所程度に災害対策拠点を置き被災具合に合わせて対処する

- ①鎌倉地域(生涯学習センター-&現本庁舎,各学校,鎌倉消防署)
- ②大船地域(消防本部,浄化センター,大船支所,鎌倉芸術館,各学校)
- ③沿岸部(七里ガ浜浄化センター,七里ガ浜小学校,七里ガ浜高校 & プリンスホテルに協力要請)
- ④旧野村総研跡地
- ⑤深沢地域整備事業用地

津波により被災した場合の救援ルート確保



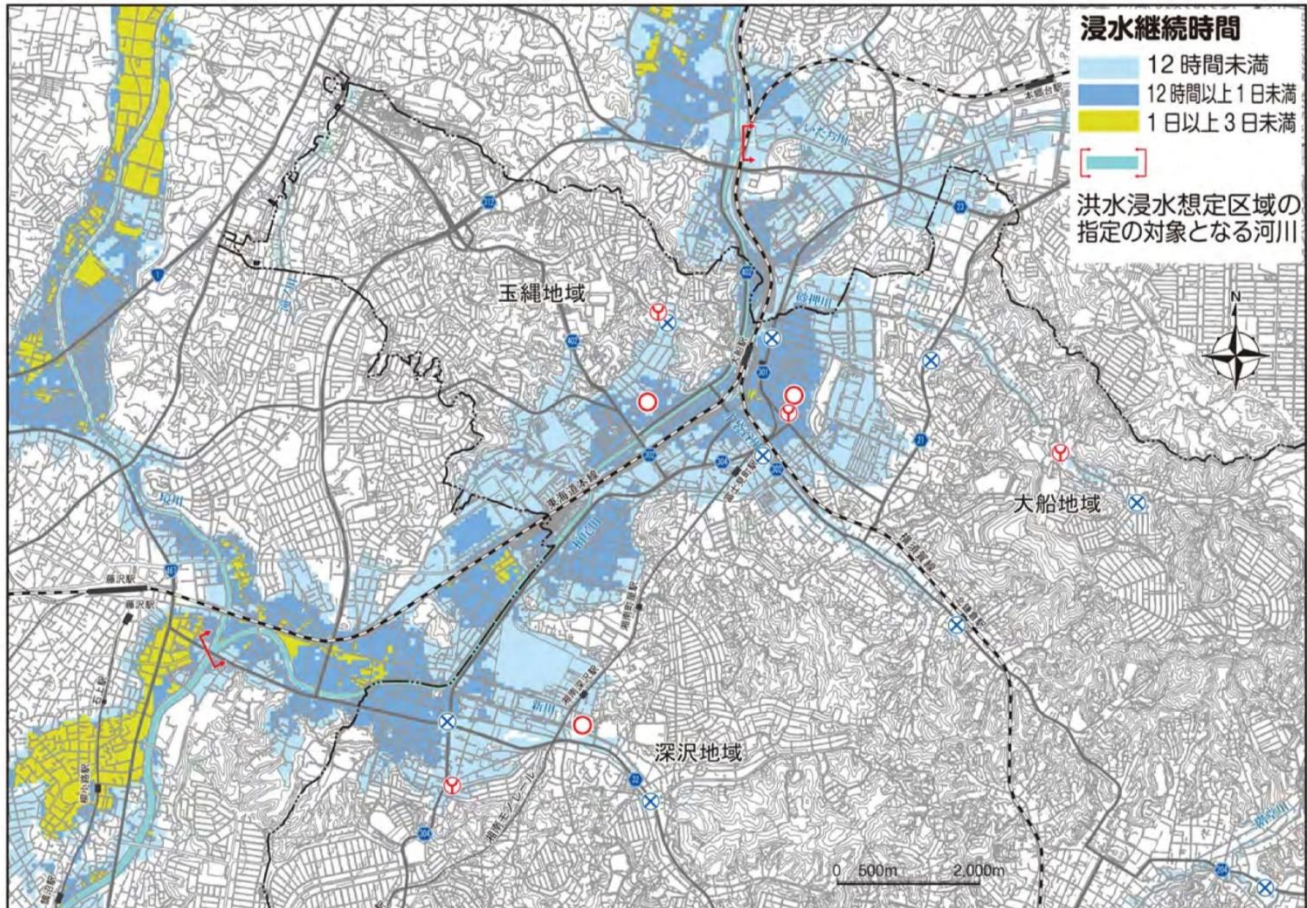
地震(津波)※により沿岸部が被災

圏央道を利用して被災地(沿岸部)を支援(くしの歯作戦)

出典: 津波浸水予測は神奈川県HPで公開されている津波浸水予測図(H27.3.31公表)より作成。
 三浦半島への津波浸水被害が大きい慶長型自身を対象

ご覧の通り救援ルートは、県道21号横浜鎌倉線(鎌倉街道)と、国道467号線で、緊急交通路指定想定路となっている。深沢地域整備事業用地は救援ルートから一番遠い場所である。深沢庁舎が災害対策本部では問題がある。

○令和7年度道路整備の促進を求める神奈川県大会配布資料



ご覧の通り鎌倉市域の柏尾川沿線は全面的に浸水地域である。村岡新駅も新庁舎も水害のリスクに常にさらされている訳である。